

解答

一

- 問一 ア 3 イ 4
 問二 タオが悪いという考え方に納得できなかったから。
 問三 3
 問四 3
 問五 2
 問六 4
 問七 1
 問八 2

二

- 問一 3
 問二 1
 問三 (お金は)身の回りのすべてものと交換可能であり、万能である(という価値観。)
 問四 5
 問五 (商品とは)人間の労働時間の対価とし、価値が決定付けられる(ものだという事)。
 問六 やましさを
 問七 3
 問八 2
 問九 1
 問十 時間

三

- ① 頭角 ② 枚挙 ③ 著「した」 ④ 故障 ⑤ 就任 ⑥ 博愛 ⑦ 帰結 ⑧ 穀物
 ⑨ ぎょうそう ⑩ ゆだ「ねる」

解説

一

- 問七 ——線部⑥の前後にある、三人でタオのお見舞いに行った場面に着目します。謝った後にお互い仲直りをしてる姿を見て、にこにこ笑っていたタオんちのおじさんの様子から、選択肢1が適切であることがわかります。
 問八 保生はこの神様とか、おばあちを大事にしていると主張しています。少し前にある孝俊とのやりとりから、天徳を勝手に荒らされてもいいわけではなく、内地人にここの決まりをちゃんと教えればいいと考えていることがわかるので、選択肢2が選べます。

二

- 問三 ——線部③の後で、金銭一元的な価値観について説明し、すべてのものと交換可能なお金という商品の万能性が信仰の対象になっていると述べています。そのため、すべてものがお金と交換可能であり、万能であるという内容を答えます。
 問九 本文から、かつての日本には、町のいたるところに喫茶店があり、本を読んだり、書き物をしたり、議論を戦わせたりしながら文化を育む場所があったことがわかります。しかし、いつの間にか、日本は経済発展が極点にまで達した経済大国になり、効率化が最優先する時代になったという内容から、選択肢1が選べます。